

公表年月日：平成31年2月8日

提案団体名： 積水化学工業株式会社、株式会社Secual

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等		技術の分野
◆技術の概要：街中のデータを収集・解析するIoTプラットフォームの構築 街中にある公衆設備／既存のアセットを活用し まちのデータをIoTプラットフォーム上に収集・解析し、まちづくり活動に活用		(4)
◆実施中：街中のスマート街灯を活用したまちの現状見える化 ①商店街への導入 地方のある商店街に人感センサを搭載したスマート街灯を20本導入し、2017年6月～2018年9月まで『人流データ』をIoTプラットフォーム上に収集。収集したデータは現在解析中で、商店街の活性化に活用予定。 ②分譲地への導入 現在、積水化学工業が埼玉県朝霞市で推進している『あさかりードタウン』に、積水化学工業とSecual社が提供するスマートタウン向け統合サービスとして『NiSUMU』を導入し、それを活用したタウンマネジメント事業「TOWNTO」を展開する。当該分譲地には、LED・カメラ・BLE受信機を搭載したスマート街灯(59本導入予定で、カメラ付きは22本)をはじめとした様々なセンシングデバイスで収集したデータをNiSUMUに集約。集約したまちのデータは、当該分譲地周辺のお店や自治体等のデータと連携し住民にさらなる付加価値を提供。		

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ		課題の分類
◆解決する課題のイメージ： スマート街灯でまちの安心・安全に係るデータをIoTプラットフォーム上に収集し、ステークホルダーに共有		(ケ)
(3) その他 ◆スマート街灯のLED色を制御し、避難誘導やにぎわい創出に活用 例. クリスマスなどのイベント時、にぎわい創出のため街灯のイルミネーションを点灯		

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
R&Dセンター R&D戦略室	長野 高典	03-5521-0841	nagano051@sekisui.com